

第2学年〇組 英語科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時（英語教室）

指導者 T1 ○ ○ ○ ○
T2 ○ ○ ○ ○

1 単 元 Unit 3 My Future Job

2 単元設定の理由

(1) 生徒観

本学級の生徒は、授業に熱心に取り組むことができる。男女ともに仲よく、明るくて活発な生徒が多い。また、思いやりがある生徒も多く、協力し合いながら活動したり、学習活動では分からないところを教え合ったりしながら課題に取り組んでいる様子も見られる。他の教科においても主体的に授業に臨む生徒たちである。しかし、筋道を立てて自分の考えを述べるのが苦手な生徒が多い。

そこで、今回はペア学習やグループ学習を通して、自分の考えを組み立て、分かりやすく発表する活動を取り入れた。さまざまな学習形態で生徒が話し合ったり、教え合ったりする中で、互いに英語の力を高めていけるようにしたい。

(2) 教材観

Unit 3では、2年生で扱う進路指導の題材である「職業」についての学習を進める設定で職業体験に至る準備や体験後のまとめレポートを取り上げている。本時の題材であるUnit Activityでは、生徒自身の職業体験で学んだことを発表することを目標に、発表内容の整理からペアでの短いやりとりを経て自身の職業体験で学んだことを筋道を立てて発表できるようにしていく。

ここでは、既習事項の不定詞の三つの用法や〈It is ~ for 人 to...〉などを用いて、自分の職業体験のエピソードを基に、そこから学んだことや自分の将来に向けて取り組んでいきたいことなどを整理して話すことが求められる。ペアやグループで伝え合う活動を通して、相手に分かりやすく伝える力を身に付けさせたい。

(3) 指導観

指導においては、まず教師が手本を見せ、どのような姿になることが望ましいかを示したい。発表時における発話のスピードや声の大きさ、聞き手の反応を確かめる問いかけなどのプレゼンテーションスキルを提示する。

また、深める段階では、ペアでの短い対話を基に、相手に分かりやすく発表するにはどうしたらよいかを考えさせ、実践させる。グループ内発表を通して、多くの級友の発表を聞くことで、自身の考えを深めたり、自分が言いたかったことのヒントを得たりする姿が見られることが望ましい。

3 単元目標

- (1) 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、行動の目的や、感情の原因などといった情報を整理して伝えたり理解したりすることができる。
- (2) 将来の夢やその実現に向けて行っていることについて、不定詞を使って情報を整理して伝え合うことができる。また、職業体験のレポートを読んで、その内容を理解するとともに、自分の考えの要点を述べるができる。
- (3) 将来の夢やその実現に向けて行っていることを、積極的に伝え合おうとする。また、これからの社会を想像し、自分の将来や夢のためにすべきことなどについて理解したり伝えたりしようとする。

4 学習の計画 (11時間完了)

第1時	不定詞の副詞的用法について理解する。
第2時	原因を表す不定詞の副詞的用法について理解する。
第3時	さまざまな活動を通して、不定詞の副詞的用法についての理解を深める。
第4時	不定詞の形容詞的用法の理解を基に、職業体験のレポートを読む。
第5時	〈It is ～ for 人 to・・・〉の理解を基に、レポートの続きを読む。
第6時	職業体験のレポートを読み、AIについての自分の考えをまとめる。
第7時 (本時)	自分の職業体験での経験をメモに書き出す。その後、ペアで職業体験で体験したことを伝え合う。ペアでの伝え合いを基に、自身の職業体験の様子や学んだことを整理し、グループ内で発表する。
第8時	留守番電話のメッセージへの返信を考える。
第9時	不定詞の復習をする。
第10時	情報技術の進歩について話し合う。
第11時	単元テストに取り組む。

5 本時の学習指導

(1) 目標

- 職業体験で学んだことを、事実や意見を整理して分かりやすく発表することができる。
- 職業体験についての発表に向け、ペアと協力して主体的に取り組もうとする。

(2) 準備・資料

- 教師……ワークシート、和英辞書、電子黒板、タブレット

(3) 関連

- 1年 英語 Unit 9 (不定詞の名詞的用法を用いて将来の夢について話し合う)
- 3年 英語 Stage Activity 1 (今まで取り組んできたことを振り返り、活動報告を行う)
- 2年 総合的な学習の時間 職業体験

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項
つかかむ	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>(1) Tool Boxの確認をする。</p> <p>(2) 教師の職業体験の体験談を聞く。</p> <p>(3) プレゼンテーションスキルを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発話のスピードや音量 ○ 内容理解を促す問いかけ ○ 画像や資料の提示 <p>(4) 本時の学習課題を把握する。</p> <p>職業体験で学んだことを整理し、分か</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板のフラッシュカード機能を使って、繰り返し発音させる。【T1】 ○ 教師が話す内容についての簡単なメモを提示する。【T1】 ○ 体験にまつわる画像などを提示する。【T1, T2】 ○ 身振りや問いかけを交え、分かりやすく見せる。【T1】 ○ 教師によるプレゼンにどのような工夫がされていたかを考えさせる。【T1】 ○ 意見が出にくい場合は、ペアで相談させる。【T1】 ○ 本時の学習に見通しをもたせ、学習に対

	りやすく伝えよう。	7	する意欲を喚起する。【T1】
練習する	2 職業体験で体験したことを振り返る。 (1) 自分の職業体験についての情報を書き出す。 ・行き先 ・目的 ・体験したこと (2) ペアで体験したことを伝え合う。 S1: I went to a supermarket to work for a day. S2: What did you do? S1: I greeted customers, put products on the stands and so on. S2: You have many things to do. S1: They were very hard, but I enjoyed them. (3) 発表の準備を行う。 ○ 以下の評価ポイントを心がけて発表原稿を作成する。 ・発話のスピードや音量 ・聞き手への問いかけなどの工夫 ・写真等の資料の効果的な提示 (4) ペアで発表の練習をする。	7	○ STEP1に取り組ませる。【T1】 ○ 作文させるのではなく、語句で箇条書きにさせ、できるだけ多くの情報を書かせる。【T1, T2】 ○ STEP2に取り組ませる。【T1, T2】 ○ メモを基に、ペアで短い対話をさせる。 ○ 机間指導をし、対話が進まないペアを中心に、支援を行う。【T1, T2】 ○ 教科書のモデル対話を参考にさせる。【T1, T2】 ○ ペアを替えて繰り返し対話させる。【T1, T2】 ○ 前時までに準備させた職業体験に関する画像などを活用させる。【T1】 ○ プレゼンテーションスキルを提示し、生徒に意識させる。【T1】 ○ 早くできたペアから発表の練習をさせる。【T1】
発表する	3 職業体験について発表する。 (1) 2 ペアで一つのグループをつくる。 ○ 発表の順番を決める。 (2) 発表の手順を知る。 ○ 発表者と聞き手の動きを知る。 ○ 発表者は起立し、タブレットを持って発表する。 ○ 聞き手は発表者の発表を以下の観点で評価する。 ・発話のスピードと音量は適切か。 ・聞き手への問いかけなどの工夫はあったか。 ・写真等の資料の提示は効果的か。 ○ コメントカードの書き方を知る。 ・発表の評価（◎○△）をする。 ・Your presentation is great. ・The pictures are very nice.	25	評発表に向け、ペアと協力しながら主体的に取り組もうとしている。（観察） ○ グループや座席位置はあらかじめ決めておく。【T1】 ○ 発表の様子を画像などで示し、視覚的な理解を促す。【T1】 ○ 評価観点を電子黒板に提示する。【T1】 ○ コメントカードを配付する。【T1, T2】 ○ コメントカードの書き方を電子黒板に提示しながら説明する。【T1】 ○ 英語でコメントを書くことができる生徒

発表する	(3) 発表を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 発表者はタブレットで画像などを提示しながら発表を行う。 プレゼンテーションスキルを使って分かりやすい発表になるように努める。 1人の発表が終わる度に、コメントカードを記入する。 		には英語で書かせる。難しい場合は日本語で書かせてもよい。【T1, T2】 <ul style="list-style-type: none"> 発表とコメントカード記入の目安の制限時間をタブレットで表示する。【T1】 評価の観点を電子黒板に提示し、生徒が随時確認できるようにしておく。【T1】 発表は1分間、コメントカードの記入は3分間を目安とする。【T1】 必要に応じてタブレットの操作の補助等に入る。【T1, T2】 手本となるような発表を抽出しておく。その際、どのような点が模範的なのかを把握しておく。【T1, T2】
	4 本時の学習のまとめを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 代表者による発表を行う。 どのような点で分かりやすいのかを考えながら聞く。 	45	評職業体験で学んだことを分かりやすく発表することができる。(観察)
まとめる		50	<ul style="list-style-type: none"> 教師が抽出した発表者にクラスの前で発表させる。【T1, T2】 教師用タブレットで発表の様子を撮影する。【T2】 発表のよかった点をクラスに問いかける。【T1】 撮影した発表をリプレイし、よかった点を映像と共に確認する。【T1, T2】

(5) 本時の評価規準

- 職業体験で学んだことを画像や資料の提示を行い、分かりやすい英語を使いながら発表している。(観察)
- 職業体験についての発表に向け、話す速さや声の大きさを心がけて、練習に取り組もうとしている。

(観察)

6 備 考

(1) 指導の力点

- 教師による手本を見せることで、分かりやすい発表の基準を生徒に与える。それらを発表の準備の段階から提示することで発表の質の向上を目指す。
- ペアやグループで発表をしたり、互いの発表を評価し合ったりする中で、新しい考え方を知ったり、自らの表現の幅を広げたりできるような場面を設定する。

- (2) ○○○○(資料○) ※板書計画、座席表、抽出生徒の捉え、教室配置図などを必要に応じて示す。

7 指導と評価